

源ちやんの英語

姉の房子が椽端で、編物をしてゐますと、座敷の方から弟の源坊が走つてきて、いきなり姉の膝の前へ座つて

源「姉さん、僕英語知つてゝよ」

姉「おや、そー!! ちやんのことねー、何といふの?」

源「グツド、モーニン」

姉「ホッホ、ハ、それ何といふことなの?」

源「おはやうといふことなの」

姉「では、ねこのことは 英語で?」

源「キヤット」

姉「おや、えらいことねー、いぬは?」

源「モンキー………うーん………そーでないの、

ドッグ」

姉「そんならねー おつかさんのことを何といふ

か知つて居るの?」

源「おつかさんって? 知らないなー おしへて

頂戴」

姉「マンマー おつかさんのことは、マンマーだ

よ、そーいつてごらん」

源「マンマー、マンマー、

やがて、夕御飯の時になつて、お父あんに、おっ母

さんに、兄さんに、姉さんに、源ちやんと、皆一

所に食卓の前に并ぶと、源ちやん、急に思ひ出した

様に

源「お父さん、僕ささ、姉さんに又英語ならつて」

父「おー、そーか、何といふのを教はつた?」

源「あのねーおっ母さんのことを、英語でねー、

どはんといふのよ」

姉「あら 源ちゃん 嫌だわ マンマーといつた

のよ』

兄「ハッハ、ハ、ハ、マンマーだから 御飯だ ね

一源ちゃん』

父、母、姉「ハッハ、ハ、ハ、ホッホ、ハ、ハ、オホ、ハ、

ハ、ハ、ハ、

源ちゃん、不思議そーに

『ではんでも、いゝんでせう ねー兄さん』…

(完)

母の誕生日

矢橋 小葩

けふは幸雄さんのお母さまの誕生日なので

姉さまのきぬ子さんと相談の上、お母さまへの贈

物として、花束をさし上げることに決めました。

「で、ふたりは近くの野にまわりました。頃は四

月のはじめで、麗かなお太陽さまは、蝶々の舞や
小鳥の歌などを、さもおもしろさうに、ニコニコ
笑つていらつしやいます。

切角、来たことは来たが、大方他の子に前つま
れて、たまに莖や蓮花草が残つてゐても、花束に
するやうなのは、すこしもありません。で、二人
はどんなに落膽しましたでせう。

でも、もつと行けば無いこともあるまい。と道
を他にとつてまわりますと、やさしいく水の韻
が聞えますので、その聲する方に出ましたら、い
さゝ川がチヨロ〜と流れてゐるのでした。

『姉さま、ほら、あんなにー、』

と、見ますと、川向ふには蓮化や莖やたんぼ、
が、それはく美しくう、まるで毛氈を敷きつめ
たやう、一面に咲きそつて、可愛い小さな蝶が